

R5 (2023)年度 修士論文

1	安藤蒼汰	企業の謝罪方法が信頼性の知覚に与える影響
2	坂本遼太郎	リスク傾向が適応度に与える影響の性別による調整効果
3	菅沼秀蔵	集団での探索における認知・行動的メカニズムの検討
4	鈴木悠祐	フェイクレビュー存在下における、ECサイト・評判システムの有効性の検討：マルチエージェントシミュレーションと購買データを活用して